

広報

第54号



日大山形

平成23年5月14日発行

出会い

胸膨らむ春



入学式後のホームルーム

待ちわびたスタート

平成二十三年
**高等学校・中学校
 入学式**
 ～豊かな人間性と正しい判断力を～

平成二十三年四月七日、第一体育館において入学式が挙行された。

大地震と共に迎えた春、「かつてない難局は、かつてない発展の基礎となる」式辞の前に、校長は、このかつてない天災についてふれ、松下電器産業の創業者松下幸之助氏の言葉を引用した。教訓としてかみしめ、復興を願ひ、…それぞれがかつてない思いで迎えた入学式であった。

〈学校長式辞〉

希望の春、その生命の息吹がますます強く感じられる、この佳き日、平成二十三年度日本大学山形高等学校・中学校入学式を挙げるにあたり、日本大学総長、酒井健夫先生をお迎えし、桜華同窓会会長、菊地敬二殿をはじめ、ご来賓各位、ならびに役員各位のご臨席を賜り、また、保護者の



近藤 博七 新校長

皆様のご列席をいただきましたことは、私どもにとりましてこの上ない喜びでございます。教職員を代表して、厚く御礼を申し上げます。
 さて、高等学校四四七名、中学校十七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
 皆さんは、本校の厳しい入学試験において、学業・人物ともに優秀と認められ、多くの志願者の中から選ばれて入学されました。皆さん一人ひとりの今日までの努力を讃えるところにも、お祝いを申し上げて、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

皆さんは、入学の喜びと、中学、高校生活への期待に胸を膨らませ、また一方で、漠然とした不安を抱えているのではないのでしょうか。本校には情熱あふれる誠実な、真心を持った先生と心優しい先輩が待っています。どうか一日も早く本校の生活になじんで、明るく楽しい学校生活を過ごしてください。
 日本大学は、山田顕義伯爵によって、明治二十二年、創立されました。そして、わが国最大の総合大学へと発展し、力強い歩みを続けています。
 本校は、昭和三十三年に山形学園山形第一高等学校として創設され、昭和三十七年に日本大学の付属高校となり、日本大学の建学の精神『自主創造』に基づき、高等学校創設五十年余、中学校創設二十年余の節目を迎えました。その間、三五、〇



酒井 健夫 日本大学総長

〇〇名を越える優秀な卒業生を輩出し、「日大山形」のゆるぎない伝統を築き上げてきました。
 この恵まれた環境のもと、これまで以上に教育の「質の向上」をめざすべきものと考えます。教職員各自が自己研鑽に励み、皆さんと一緒に成長できる学校づくりをさらに前進させていきたいと考えています。
 さて皆さん、今後、一層複雑化する社会の中で生きていくための力を養うのは、まさに中学、高校時代に身に着けた教養と経験が土壌となります。つまり、中学、高校で学ぶ時期は人間にとって他のどの時期にも増して重要な意味を持つと考えられます。皆さんには、この人格形成に大きな影響を与える多感な時期にこそ、明るく前向きな姿勢

で自分の目標に向かって努力することの価値を実感し、一日一日を大切に、友達とともに成長していくことの素晴らしさに気がついてほしいと願っています。「文武両道」の校風のもと、豊かな人間性と正しい判断力を持った生徒に成長してください。
 次に保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員一同は、ご列席の保護者の皆様に対しまして、これまでのご苦勞をねぎらい申し上げ、併せて限りない可能性に富む新入生の入学を心から祝福し、歓迎いたします。そして、本校の総力を結集して、教育成果を最大限に高めたいと決意を新たにしております。
 しかし、教育の成果は学校の努力のみでは達成できません。保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針をご理解いただき、密接な連携を保ちながら、積極的なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 新入生の皆さん、二度とない青春時代を、勉強

に、クラブ活動に、有意義に過ごし、本校で過ごした時間が皆さんの人生の中で最も輝いたものになることを心から期待して、式辞といたします。



担任を先頭に緊張の入場行進

平成二十三年
高校一学年担当教員

- 主任 池田 卓郎(理科)
 - 副主任 鈴木 正明(国語)
 - 一組 黒田 孝則(保健)
 - 二組 増川 正吉(地歴)
 - 三組 永澤 良憲(公民)
 - 四組 酒井 幹夫(英語)
 - 五組 押野 孝(英語)
 - 六組 斉藤 健(情報)
 - 七組 逸見健次郎(数学)
 - 八組 高梨 裕一(国語)
 - 九組 鈴木 正明(国語)
 - 十組 黒沼 美秋(理科)
 - 十一組 太田 裕士(数学)
 - 十二組 林 充彦(数学)
 - 十三組 遠藤 啓一(保健)
 - 十四組 若木 健一(英語)
 - 副担任 片山 款郎(地歴)
 - 副担任 近藤 光子(英語)
- ◆学年付
- 阿部亮子(国) 元木昇子(国)
 - 国府方雅晴(数) 海老宏平(数)
 - 伊藤寛和(数) 藤田和子(理)
 - 佐藤真智子(理) 渡辺より子(英)
 - 佐藤祐平(保) 佐藤孝一(保)

平成二十二年 高等学校卒業式

卒業生 602名

平成二十三年三月一日、第一体育館において、卒業式が挙行された。五年間、本校校長を務めた名古屋逸先生は平成二十二年度をもって退職となり、感慨深い卒業式となった。卒業式にあたり、在学中の顕著な成績が讃えられ、授与された各賞受賞者を掲載する。

受賞者

一、総長賞(学業部門)

豊嶋 豊樹(東根一中) 青木 一稔(蔵王一中)

二、優等賞

伊藤 彩(山形三中) 鹿野 龍徳(山形四中) 中野 就平(山形六中) 野川 稜馬(天童三中) 大沼穂乃花(天童一中) 伊藤亜希子(山形四中) 木村 孝真(陵東中) 工藤 菜紗(日大山中) 豊嶋 豊樹(東根一中) 三上 圭子(日大山中) 八鍬 信康(楯岡中) (2)功労賞 佐藤 亮宗(日大山中) 生徒会長

三、皆勤賞

片桐 詩織(山形十中) 生徒会副会長

四、学校長賞

鈴木 祐(山形二中) 生徒会副会長

五、精勤賞

広報担当 西沼 慶太(東根一中) 会計担当 渡邊 舞(山形六中)

六、大久保・矢野賞

(1)努力賞 木村 彩乃(山崎町富岡中) 小内恵怜奈(山形五中) 大沼 優衣(上山南中) 栗野 友唯(山形九中) 渉外・応援担当 川崎 大夢(日大山中) 運動部担当 深瀬 伊世(山形一中)

代議員議長

伊藤 康太(山形五中)

代議員副議長

元木 修平(天童一中)

代議員副議長

小久江洋輔(山形六中)

学級委員長

田苗 秀城(高楯中)

週番委員長

新倉慎之助(山形六中)

保体委員長

岩田七奈美(日大山中)

環境整備委員長

鈴木萌恵香(山形二中)

図書委員長

大宮 新(上山山元中)

女子部専門委員長

佐藤 涼佳(日新中)

応援委員長・応援団長

木村 孝真(陵東中)

運動部部長

栗林世理菜(山形十中)

文化部部长

長棟 瑞人(上山南中)

HR運営副委員長

高平 真澄(山形一中)

(3)体育賞

野球部 松田 脩平(豊橋吉田中)

柔道部

佐藤 快(山形三中)

バドミントン部

齋藤 智史(山形六中)

陸上競技部

武田 章吾(山形六中)

バスケットボール部

田中 芳樹(蔵王一中)

ボクシング部

鈴木 利春(山形六中)

剣道部

岡崎 堯明(山形六中)

サッカー部

鹿野 智也(山形二中)

バレーボール部

鈴木 克(山形六中)

水泳部

江本 遼(天童二中)

スキー部

木村 彩乃(山崎町富岡中)

ソフトテニス部

井上 混介(上山南中)

テニス部

平塚 舜(山形六中)

卓球部

鈴木 航(山形九中)

ハンドボール部

木村 謙斗(山大附中)

ラグビーフットボール部

植村 紀仁(山形六中)

少林寺拳法部

栗林世理菜(山形十中)

ゴルフ部

有坂 亘(采沢二中)

馬術部

丹野 里香(日大山中)

女子バレーボール部

佐藤まい江(山形六中)

女子ソフトテニス部

駒林 史葉(山形四中)

女子テニス部

小笠原 光(天童三中)

女子ハンドボール部

佐竹有莉子(山形二中)

女子バスケットボール部

奥山 香菜(金井中)

フィットネス愛好会

佐藤 亮宗(日大山中)

(4)文化賞

生物部 長谷川達也(山形四中)

化学部

大沼陽太郎(神町中)

英会話部

野川 稜馬(天童三中)

文芸部

武田乃里子(山形五中)

美術部

吾妻 美莉(山形六中)

書道部

阿部 史夏(山形二中)

音楽部

矢島 秋人(山形一中)

吹奏楽部

由井 貴将(山形六中)

茶道部

土佐林理子(山形五中)

演劇部

椎名 郁夫(天童三中)

写真部

丸川 文也(日大山中)

放送部

村上 大輔(山形五中)

ダンスドリル部

安食由衣子(陵南中)

JRC愛好会

丹 はるか(山辺中)

将棋愛好会

長棟 瑞人(上山南中)

七、栄光のメダル

(1)金メダル

水泳部 渡辺 耶唯(山形三中)

(2)銀メダル

ボクシング部 十五名

スキー部

馬術部 一名

(3)銅メダル

野球部 二一名

柔道部 一名

バスケットボール部 三名

サッカー部 十五名

バレーボール部 七名

水泳部 二名

ラグビーフットボール部 四名

少林寺拳法部 一名

女子テニス部 一名

女子ハンドボール部 十名

八、学外賞

(1)日本私立中高連理理事長賞 生徒会長

片桐 詩織(山形十中)



名古屋 逸 前校長

第十三代校長に
近藤 博七



「力を一つにして」

私は豊山女子高等学校・中学校から参りました。よろしくお願い致します。

忘れることのできない三月十一日の東日本大震災、このような未曾有の大惨事が起ころうとは、誰も予想だにせず生活して参りました。私達は四季折々のなせる山海の美しさに感謝して生活をしてきたでしょうか。「山紫水明」「花鳥風月」などの四字熟語は、脈々と今日に伝えられて来ましたが、これらの言葉を真摯に受けとめて味わってきたであらうかと、改めて私自身自問自答しております。自然はこのことを教えてくれたものだと思っております。

現在、仲間と同じ舞台上で同じように呼吸していることに、実は感謝すべきことなのでしょう。生きていく生命があるという現実、感謝しなければならぬと思えます。小説家三浦綾子さんは、『九つまで満ち足りていて、十のうち一つだけしか不満がないときでさえ、人間はまず真つ先にその不満を口から出し文句を言いつづけるものなのだ。自分を顧みてつくづくそう思う』。なぜ私達は、不満を後まわしにして感謝すべきことを先に言わないのだろうか。今こそ自分を顧みて感謝を忘れることなく生活すべき時だと思えます。

平成22年度
合格状況

医歯薬系 合格者 大躍進 !!

医 学 科	日 本 大 学 …5 (1)	山 形 大 学 …2 (1)	獨 協 医 科 大 学 …1 (1)
	帝 京 大 学 …1 (1)		
歯 学 科	日 本 大 学 …1	北 海 道 医 療 大 学 …1	東 京 歯 科 大 学 …1
	日 本 歯 科 大 学 …5	鶴 見 大 学 …1	愛 知 学 院 大 学 …1
獣 医 学 科	北 里 大 学 …1 (1)		
薬 学 科	日 本 大 学 …5	北 海 道 医 療 大 学 …1	岩 手 医 科 大 学 …2 (1)
	東 北 薬 科 大 学 …7	い わ き 明 星 大 学 …1 (1)	奥 羽 大 学 …2 (1)
	国 際 医 療 福 祉 大 学 …1	帝 京 大 学 …1 (1)	日 本 薬 科 大 学 …1 (1)
	横 浜 薬 科 大 学 …2 (1)		

() 内の数字は過年度生で内数

◎日本大学 200(4)名

法 学 部 …20	文 理 学 部 …13(1)	経 済 学 部 …20	商 学 部 …17	芸 術 学 部 …5
国 際 関 係 学 部 …11	理 工 学 部 …20	生 産 工 学 部 …27	工 学 部 …25	医 学 部 …5(1)
松 戸 歯 学 部 …1	生 物 資 源 科 学 部 …20(2)	薬 学 部 …5	短 期 大 学 部 …6	看 護 専 門 学 校 …4
歯 科 衛 生 専 門 学 校 …1				

◎国公立大学・短期大学 57(10)名

北 海 道 教 育 大 学 …1	弘 前 大 学 …2 (1)	東 北 大 学 …2	宮 城 教 育 大 学 …1	山 形 大 学 …30(5)
福 島 大 学 …1	新 潟 大 学 …6	京 都 工 芸 繊 維 大 学 …1	青 森 公 立 大 学 …1 (1)	岩 手 県 立 大 学 …3
首 都 大 学 東 京 …1 (1)	静 岡 県 立 大 学 …1 (1)	山 形 県 立 米 沢 女 子 短 期 大 学 …7 (1)		

◎日本大学以外の私立大学・短期大学 371(55)名

北 海 道 医 療 大 学 …2	岩 手 医 科 大 学 …2 (1)	東 北 学 院 大 学 …24(2)	東 北 福 祉 大 学 …33(1)	東 北 薬 科 大 学 …7
宮 城 学 院 女 子 大 学 …17	秋 田 看 護 福 祉 大 学 …1	東 北 文 教 大 学 …10	東 北 芸 術 工 科 大 学 …22(3)	獨 協 医 科 大 学 …2 (2)
国 際 医 療 福 祉 大 学 …2 (1)	日 本 保 健 医 療 大 学 …1	埼 玉 医 科 大 学 …3 (1)	聖 徳 大 学 …3	東 京 医 療 保 健 大 学 …2
垂 細 垂 大 学 …3 (1)	青 山 学 院 大 学 …2	学 習 院 大 学 …1	北 里 大 学 …1 (1)	杏 林 大 学 …1
國 學 院 大 学 …2 (1)	駒 澤 大 学 …2	芝 浦 工 業 大 学 …2 (2)	上 智 大 学 …1	女 子 栄 養 大 学 …1
成 城 大 学 …1 (1)	専 修 大 学 …6 (2)	中 央 大 学 …1	帝 京 大 学 …8 (3)	東 海 大 学 …7 (4)
東 京 歯 科 大 学 …1	東 京 農 業 大 学 …2	東 京 理 科 大 学 …3 (2)	東 洋 大 学 …1	日 本 歯 科 大 学 …5
法 政 大 学 …3	明 治 大 学 …5 (2)	早 稲 田 大 学 …1	神 奈 川 大 学 …6 (1)	中 京 大 学 …2
同 志 社 大 学 …4 (2)	立 命 館 大 学 …6 (5)	関 西 外 國 語 大 学 …2	関 西 学 院 大 学 …1	青 山 学 院 女 子 短 期 大 学 …3
大 女 子 大 学 短 期 大 学 部 …1	上 智 短 期 大 学 …1	ほ か		

◇専門学校 92(3)名
山形市立病院済生館高等看護学院/北里大学保健衛生専門学院など医療系33名合格

◇就 職 23名
公務員10名
山形県警察官/埼玉県警察官/陸上自衛官
一般企業13名
遠藤商事(株)/第一貨物(株)/株ナカムラ山形支店/株ナチ東北精工/株蔵王ミート/城北麵工(株)/和歌山産業(株)
紀州鉄道ホテル蔵王/株中島商店/カネケイ工業(株)/株三陽製作所/山崎製パン(株)/ブリヂストンサイクル(株)

学年主任の抱負



一学年主任
池田 卓郎

新入生四四七名の高校生生活が始まり、クリエイティブライフを使用したのオリエンテーションが行われました。日本大学の歴史・学祖山田顕義先生の話、そして本校の歴史については多くのことを学び、学習については授業の大切さと記憶と理解のバランス等。生活については基本的な生活習慣の大切さを聞きました。また、校歌・応援歌の練習では先輩方の指導の下、戸惑いながらも大きな声で歌うことができた体育館に声援が響き渡り若い力を感じました。日本大学校歌・日本大学山形高等学校校歌はいつでも歌えるように練習してください。野球、バスケットボール、サッカー等の応援でみんなで歌いましょう。

高校での生活は「十年後の私」に目標を設定し、日々情報を得よう心掛けてください。図書館には新聞・機関誌・歴史本をはじめ多くの情報があります。こまめに足を運び「図書館利用者カード」を大いに活用してください。また、高校生活では学習は勿論のこと部活動に参加し多くの仲間を得ることも大切です。

有意義な高校生活を送ってください。
年間予定表
五月：一学期中間考査
六月：一学期期末考査
七月：体育祭
八月：桜華祭



二学年主任
多田 剛

日本大震災が発生し終業式もできずに二年生の始業式を迎えることになりました。今回の大震災では多くのことを経験し、常日頃の非常時への備えがいかに大事かをまざまざと教えてくれました。一学年を終え二学年になった現在、将来の希望に向けて、今やらなければならぬことを本気になって計画を立て、確実に取り組む努力を積み重ねて欲しいと思います。二年生での努力の結果で三年次の進路目標の達成が大きく違ってきます。この一年間の積み重ねが一番重要となります。昨年度は『自分でミガケ』のタイトルどおり、しっかりと自分自身を磨き上げました。今年度は『自分でヒカレ』のタイトル通り学習の場、部活動の場、あらゆるステージで各自が光り輝いてくれることを期待しています。

七 月：体育祭
八 月：桜華祭
十一月：修学旅行（沖縄）
他、公務員受験講座や一般企業・公務員模試、大学進学模試など多くの模擬試験が予定されています。



三学年主任
荒井 憲夫

高校最後の最高学年を迎えました。自分にとってこれからの一年悔いのない取り組みを継続し、一人ひとりが勝利を勝ち取ってくれること切に望んでいます。目標が定まったらまず足元を見て、ゴールに如何にして辿り着くべきかを考えよう。計画を練って、あとは実践あるのみ。ひたすら前に進んでいこう。

部活動では、日頃の練習と努力を最大限に引き出す最後の年です。克己心を持って、全国大会目指し粘り強く闘ってくださることを期待します。

年長者は年少者に対し手本となる責務があります。生活面、学習面、クラブ活動、生徒会活動など、いろんな場面で評価される最上級生になれるよう心掛けながら生活して欲しいものです。「善因善果」という四字熟語があります。これは「良い行いは良い報いをもたらす。」という意味です。昔は、「お天道様が見ている。（だから、悪いことはするなよ）」とも言われていました。いづれにせよ、自分に恥じない日々を過ごしましょう。

六月：日大統一模試
国公立大進学説明会
九 月：日大統一模試
日大進路説明会
十一月：日大統一テスト
日大付属推薦説明会
一 月：センター試験
他に、公務員受験講座や職業講話、一般企業・公務員模試、大学進学模試さらに看護医療模試など多くの模擬試験が予定されています。

新任教職員の紹介



海老 宏平 先生（数 学）

今年度から数学を担当します。海老です。今春に大学を卒業しました。皆さんとは近い目線で接していきたいです。明るく元気に頑張ります。



国府方雅晴 先生（数 学）

本年度より日大山形高校で数学を教えることになりました。また、男子テニス部の顧問にもなりましたので、合わせてよろしくお願ひします。



伊藤 寛和 先生（数 学）

今年度から数学を担当することになりました。私はここ日大山形出身です。精一杯頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします。



高橋望都美 職員（保健室）

保健室で勤務させて頂いております。皆様が学校生活を心も体も健康に過ごせるようにお手伝いできればと思っています。気軽に相談にきて下さい。



鈴木 泰夫 職員（警備員）

生徒の皆さんの、校内での安全と安心に日々精進致します。また、各部活動の全国大会への出場と活躍を心より応援致します。頑張ってください。



菊地 善男 職員（警備員）

生徒の皆さん、夢を持って生きてください。そして叶うよう努力してください。素晴らしい人生が送れます。頑張ってください。心から応援しています。

部活動活動報告 後期

全国大会で優勝 スキー男子回転 深瀬 和志

運動部

スキー部

全国高校総体

男子回転

深瀬和志(山形四中) 優勝

男子大回転

深瀬和志(山形四中) 二位

国民体育大会

男子大回転

沖野省吾(日大山中) 六位

全国高校選抜大会

男子スーパード回転

小原健汰(鶴岡一中) 三位

男子テニス部

全国選抜高校テニス大会

団体 出場

ボクシング部

東北高等学校ボクシング

新人大会

学校対抗 五位

ピン級

川合 丈(山形三中) 三位

ウエルター級

佐藤大地(山形六中) 優勝

II部バンタム級

町田光治郎(山形五中) 優勝

II部ウエルター級

板花 豪(陵東中) 優勝

II部ミドル級

棚井健太(山形十中) 二位

全国高等学校ボクシング

選抜大会

(震災の為に中止)

ウエルター級

佐藤大地(山形六中)

水泳部

春季ジュニアオリンピック

カップ

(震災の為に中止)

女子一〇〇Mバタフライ

同 二〇〇Mバタフライ

渡辺耶唯(山形三中)

女子二〇〇M背泳ぎ

伊勢村真乃(福原中)

文化部

ダンスドリル部

全国高等学校ダンスドリル

新人大会

ソング部門

六位

少林寺拳法部

全国高等学校少林寺拳法

選抜大会

(震災の為に中止)

単独演武の部

横川玲雄(山大附中)

沖縄修学旅行

平成二十二年「沖縄修学旅行」が十一月十九

日より三隊に分かれ、三

泊四日の行程で行なわれ

た。目的は、沖縄と山形

の文化・習俗・風土の違い

を感じ、また過去の歴史

に触れながら国際平和の

実現について主体的に考

え、自己を見つめ直す機

会にすることであった。

【一日目：首里城】

仙台空港から那覇へ。

世界遺産である首里城公

園を見学。琉球文化にふ

れ宿舎へ。いよいよ始

まる。

【三日目：クラス別研修】

沖縄美ら海水族館など

で大自然を満喫し、体験

学習を通して沖縄の文化

に触れた。

【最終日：世界遺産】

世界遺産の座喜味城跡

公園を見学、東南植物楽

園を見学し、一路山形へ

の帰路につき、充実した

修学旅行を行なうことが

できた。

【二日目：平和学習】

平和記念公園を中心に、

ひめゆりの塔、喜屋武岬

の平和の塔などを見学し

た。生徒達は平和祈念堂

に千羽鶴を奉納し、改め

て永遠の平和を願った。

また修学旅行に生徒達は心弾ませ表情は明るく楽しんでいた。

【二日目：平和学習】

平和記念公園を中心に、

ひめゆりの塔、喜屋武岬

の平和の塔などを見学し

た。生徒達は平和祈念堂

に千羽鶴を奉納し、改め

て永遠の平和を願った。

班別自主研修では国際通

りを中心に、沖縄独特の

生活習慣や食文化に触れ

た。

【三日目：クラス別研修】

沖縄美ら海水族館など

で大自然を満喫し、体験

学習を通して沖縄の文化

に触れた。

【最終日：世界遺産】

世界遺産の座喜味城跡

公園を見学、東南植物楽

園を見学し、一路山形へ

の帰路につき、充実した

修学旅行を行なうことが

できた。

【二日目：平和学習】

平和記念公園を中心に、

ひめゆりの塔、喜屋武岬

の平和の塔などを見学し

た。生徒達は平和祈念堂

に千羽鶴を奉納し、改め

て永遠の平和を願った。

班別自主研修では国際通

りを中心に、沖縄独特の

生活習慣や食文化に触れ

た。

を肌で感じる事ができた。リゾートホテルの豪華な客室には生徒は驚きの表情を見せていた。

【最終日：世界遺産】

世界遺産の座喜味城跡

公園を見学、東南植物楽

園を見学し、一路山形へ

の帰路につき、充実した

修学旅行を行なうことが

できた。



【二日目：平和学習】

平和記念公園を中心に、

ひめゆりの塔、喜屋武岬

の平和の塔などを見学し

た。生徒達は平和祈念堂

に千羽鶴を奉納し、改め

て永遠の平和を願った。

班別自主研修では国際通

りを中心に、沖縄独特の

生活習慣や食文化に触れ

た。

【三日目：クラス別研修】

沖縄美ら海水族館など

で大自然を満喫し、体験

学習を通して沖縄の文化

に触れた。

【最終日：世界遺産】

世界遺産の座喜味城跡

公園を見学、東南植物楽

園を見学し、一路山形へ

の帰路につき、充実した



全国高校総体 男子回転 優勝
深瀬 和志 山形新聞提供



優勝報告に笑顔で応える
庄司 優監督(右)
山形新聞提供



山本君(左)・阿部さん(右)
とPAの皆さん

本校から二名が、二週
間、イギリスのケンブリッ
ジ大学のプログラムに参

山本…ペンブルック・カ
レッジから程近い、同じ
ケンブリッジ大のキング

本校のホームページに
写真も沢山アップされ
ています。是非ご覧く
ださい。

中学校入学式

四月七日、高等学校と合同の入学式が行われた。女子八名、男子九名の計十七名の入学生は、緊張した面持ちで入場し着席した。そして、後に続く四七七名の高等学校入学生の入場が終わると、式は肅々と進んでいった。

新入学生代表宣誓は、岡崎慧さん（山形五小）が行った。その中で、この度の大震災にも触れ「勉強することや生きていくことの意味など様々なことを私達が一人一人真剣にとらえて歩んでいかなくてはならないと思います。」と述べた。また、中学校生活への思いを「こ

れからの三年間のことを思うと、ドキドキワクワクせずにはいられません。新しい環境の中で始まる新しい生活のことを思うと、今の季節のように何かが芽吹き、育っていくうれしい予感をおさえることができないのです。」と見事に表現した。続いて殿岡理央君（南山形小）が入学記念品の「学習ノート」を受け取った。

新入生たちは、引き締まった表情で、これから始まる三年間を、仲間達と共に真剣に学び、精一杯生きていこうと決意を新たにしているようであった。



誓いの言葉を述べる岡崎慧さん



記念品を受け取る殿岡理央君

平成二十三年度 中学校担当教員

- | | |
|--------|--------------------|
| 校長 | 近藤 博七 |
| 教頭 | 榊 寿一(数学) |
| 教務主任 | 中村 薫(国語) |
| 一年一組担任 | 中村 薫(国語) |
| 二年一組担任 | 橋本 健志(理科) |
| 三年一組担任 | 永野 勝久(数学) |
| | 中村 寿一(国語) |
| | 野口 敏広(社会) |
| | 廣瀬 純二(音楽) |
| | 多田 剛(美術) |
| | 遠藤 勲(保健体育) |
| | 遠藤 啓一(保健体育) |
| | 村田 亨(保健体育) |
| | 武田裕香子(国語) |
| | 澁谷 直樹(社会) |
| | 小野 慶子(数学) |
| | 半田美由紀(英語) |
| | ポールマツクヒョン・バカイン(英語) |
| | チャド・ホンペー(英語) |
| | 東條 文子(保健体育) |
| | 設楽 未来(理科) |
| | 木村 恵李(英語) |
| | 青木 大和(保健体育) |
| | 木村祐太郎(技術) |
| | 岡崎 若華(家庭) |
| | 早坂英里子(家庭) |
| | 渡邊 亮一(総合) |

感動の卒業式

この度の大震災で急遽日程変更になり、さらに卒業生三七名と、在校生代表として現生徒会長、たけでの卒業式が三月十六日に行われた。



震災による被災者の方々に対し黙祷を捧げ、厳粛な雰囲気の中で行われた。現生徒会長の新田大陸君が送辞を、前生徒会長の田中菜月さんが答辞を述べた。答辞では、様々な

学校行事を通しての思い出が一つ一つよみがえるように、楽しんで、楽しく、いだけでなくとて

英検三級の合格者九割、準二級の合格者三割を達成!

今春の卒業生のうち九割以上の生徒が英検三級に合格した。準二級も昨年度の四割には及ばなかったものの、三割が合格している。また二級合格者も二名おり、素晴らしい結果であった。

や三年次のハワイ修学旅行で実践的な経験も積んできた。その集大成として、卒業を前にしてグループで、三年間習った表現をふんだんに取り入れたスキットを自作自演した。内容もとても面白く、発音・イントネーション・リズム、いずれも立派なものであった。

も充実した学校生活を送ることができたという思いが伝わってきた。さらに、日大山中へ入学させてくれた両親への感謝の気持ちも述べられ、体育館の中が感動で包まれた。式終了後、卒業生による呼びかけと歌があった。これまで自分たちで時間を見つけて練習を重ねてきたのだ。呼びかけを行う姿には両親、仲間、そして先生方への感謝の気持ちがあふれていた。

卒業生にとって、未来が輝かしい夢や希望に満ちあふれたものになることを心から祈りたい。



今春卒業した三年生

高等学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

学校説明会では、学校生活全般に関する説明と、入試に関する詳しい説明をします。事前の申し込みはいりません。

	期 日	会場及び時間
第 1 回	10月 9 日(日)	受 付 9:20~ 9:55 説明会 (第一体育館) 10:00~11:40 以下は希望になります。 個別相談 11:40~ 校舎見学 11:40~12:10 部活動見学 11:40~12:30
第 2 回	10月23日(日)	
第 3 回	11月20日(日)	
第 4 回	12月 4 日(日)	
第 5 回	12月18日(日)	

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、ご遠慮なくお電話の上ご来校ください。
 ※部活動見学については、見学参加前にお問い合わせください。
 (023-641-6631 担当/廣瀬、渡部)

フオト・ア・ラ・カイト



新入生オリエンテーション・部活動紹介



新入生オリエンテーション・学習について



中学校応援団



中学校新入生対面式



日本大学総長を迎えての入学式

一日も早い復興を願って 〜教職員クラブから義援金〜

このたびの東日本大震災におきまして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、また甚大な被害に遭われました皆さま方には心よりお見舞いを申し上げます。

二ユースで被災地および各地の被害の実態が明らかになるたびに、その被害の大きさに心が痛み

ます。被災地ではまだまだ不安な時を過ごされている方々がいらっしゃいます。どうか一人でも多くの命が助かりこれ以上被害が拡がりませんよう一日も早い復旧を願ってやみません。

かつて本校で共に教師として働いた仲間が、宮城県で被災した子どもたちと共に学校で寝起きしているという話も聞かれました。

私も日本大学山形高等学校・中学校の教職員

も被災地の一日も早い復興を願って、義援金を送らせて頂くことにしました。去る三月二十四日、本校から名古屋逸前校長、大沢辰夫事務長、そして教職員クラブ代表として荒井憲夫教諭が山形新聞社を訪れ、教職員クラブの積立金より百万円を震災復興のための義援金として寄付してきました。

教職員一同、被災された方々に一日も早く日常の笑顔が戻りますことを願っております。

編集後記

茶会の心得に「一期一会」という言葉があります。「一生で一度しかない出会いで、この時は一度限りである。」という意味です。四月は入学式や入社式など出会いの時期でもあり、私たちは目に見えない大きな力に導かれ、見えない糸に手繰り寄せられ、ここに居合わせ出会ったのです。そう思うと、相手が誰であれ大切なかけがえのない人だと思えてきます。新入生にとっても互いに励まし競い合える仲間や教師に出会ったということになります。そして山形県はこの度の大震災の隣県であり、様々な事情も重なり被災にあわれた方々と出会いました。身近なところにも「一期一会」の精神があると思えば、この時を互いに心通わせ良い時間を過ごしたと思えるよう、一つ一つの出会いを大切に心こめて接し、素敵な時間を過ごしたいものです。

日本大学山形高等学校・中学校広報部
 〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
 電話 〇二三-六四一-六六三二(代)
 FAX 〇二三-六四一-六六三四
 URL <http://www.yngt.hsh.nihon-u.ac.jp>
 印刷 (株)大風印刷
 写真提供 (有)カメラの石山